

日常点検

1. 電池残量を確認してください。
2. フィルターが汚れていないか確認してください

使用方法

1. 電源の入れ方

“ピッピ”と鳴るまで“電源/ENTER”ボタンを押し続ける。LCD 表示が下記のように切替り、ガス検知が始まる。

全点灯 → WARM UP → 日付、時間、温度、電池電圧 →
CH₄ OXY H₂S CO (測定モード表示)

(注記: 表示されるガス名はタイプにより異なる。)

2. AIR 校正

本紙裏面の AIR 校正を参照。

3. 表示の切替え方

- ピーク値は“表示/(切替)”ボタンを1回押す。
- STEL 値は“表示/(切替)”ボタンを2回押す。
- TWA 値は“表示/(切替)”ボタンを3回押す。
- 日付、時間、温度、電池電圧は“表示/(切替)”ボタンを4回押す。
- データログ使用時間は“表示/(切替)”ボタンを5回押す。
- M-MODE は“表示/(切替)”ボタンを6回押す。
- 通常測定モードには“表示/(切替)”ボタンを7回押すと戻る。

4. 警報の解除

警報を解除するには、ガス濃度値が第一警報点より下がってから(酸素の場合は第一警報点を越えてから)“警報解除/”ボタンを押す。

5. 電源の切り方

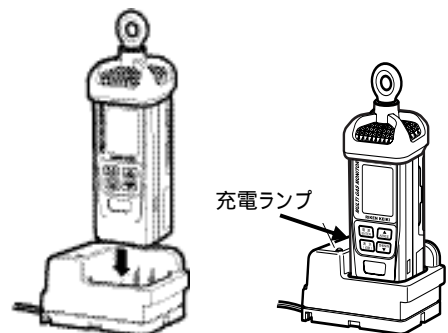
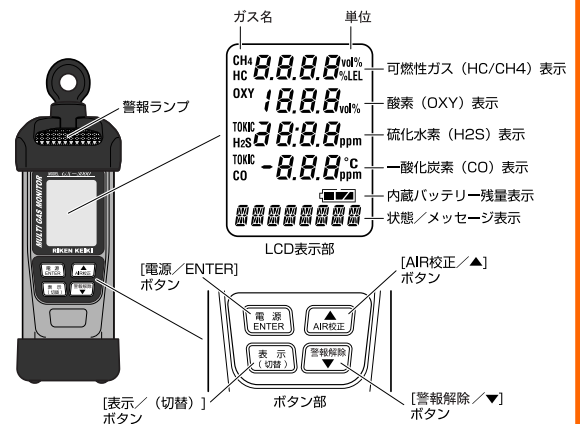
使い終わったら“ピッピッピ”音が鳴り止むまで

“電源/ENTER”ボタンを約5秒押し続ける。

GOOD-BYと表示されたら“電源/ENTER”ボタンから指を離す。

6. 充電の仕方(ニッカド電池)

本器の電源をオフにして右図のように充電器 BC-3000(特別付属品)にセットする。充電器上部の赤い LED 充電ランプが消灯したら充電完了。



警告：危険区域では充電を行わないでください。

注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。

AIR校正

⚠ 注意：測定場所では行わないで下さい。

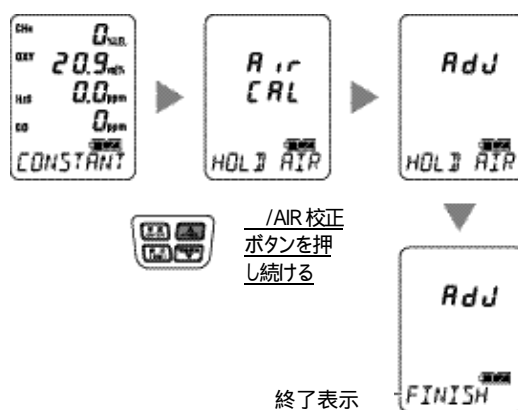
電源を入れ、新鮮な大気中で本操作を行う。
(電源の入れ方は本紙表面 1. 電源の入れ方 を参考。)

表示が測定モード表示であることを確認。
(表示の切替え方は本紙表面 3. 表示の切替え方 を参照。)

“ /AIR 校正 ” ボタンを押し続ける。

LCD表示が右図の様に Air CAL / HOLD AIR から Adj / FINISH になったら、
“ /AIR 校正 ” ボタンを離す。

エア校正が完了。



トラブルシューティング

表示	ブザー	原因	処置
FAIL CIRCUIT	1sec ビビビ ビビビ	本体回路に異常がある。	弊社又は弊社指定サービス会社に修理を依頼して下さい。
FAIL BATTERY	1sec ビビビ ビビビ	内蔵バッテリーの電圧低下。	電源を切り、非危険場所で充電して下さい。 なお、充電の際は必ず専用の充電器をご使用ください。
CH FAIL OXY H2S CO SENSOR	1sec ビビビ ビビビ	表示されているセンサの故障。	弊社又は弊社指定サービス会社にセンサの交換を依頼して下さい。
LCD表示が無くブザーも 鳴動しない		内蔵バッテリーが極端に消耗。	上々記と同様、充電をして下さい。
		“電源/ENTER” ボタンを押す時間が短い	電源 ON 時約 1 秒間押し続けて下さい。

1年に1回以上のメーカー点検を行うことをお勧めします。

注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。